

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2001 年 4 月 26 日 (26.04.2001)

PCT

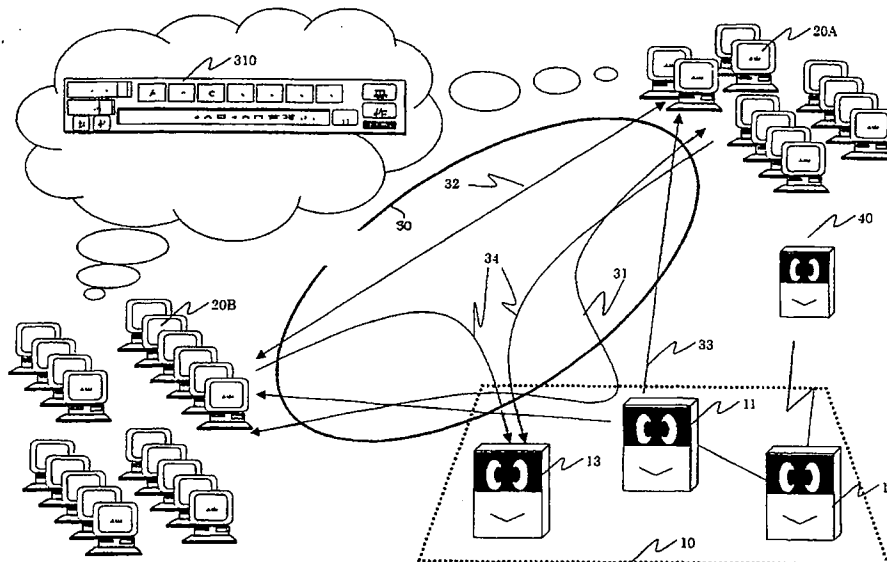
(10) 国際公開番号
WO 01/29675 A1

- (51) 国際特許分類⁷: G06F 13/00, 15/00, 17/30, H04L 12/58 (72) 発明者; および
(75) 発明者/出願人 (米国についてののみ): 藤澤知徳 (FUJISAWA, Tomonori) [JP/JP]; 〒144-0051 東京都大田区西蒲田 7-32-2 株式会社 エイティング内 Tokyo (JP). 佐藤昭治 (SATOU, Shouji) [JP/JP]; 〒325-0000 栃木県黒磯市栄町 635 Tochigi (JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP00/07184
- (22) 国際出願日: 2000 年 10 月 17 日 (17.10.2000)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (74) 代理人: 石田政久 (ISHIDA, Masahisa); 〒143-0023 東京都大田区山王 1-28-10 Tokyo (JP).
- (30) 優先権データ:
特願平 11/296034
1999 年 10 月 18 日 (18.10.1999) JP
- (81) 指定国 (国内): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, BZ, CA, CH, CN, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NO, NZ, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VN, YU, ZA, ZW.
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 株式会社 エイティング (KABUSHIKI KAISHA EIGHTING) [JP/JP]; 〒144-0051 東京都大田区西蒲田 7-32-2 Tokyo (JP).

[続葉有]

(54) Title: INFORMATION DISTRIBUTION SYSTEM, INFORMATION DISTRIBUTION METHOD, AND COMPUTER-READABLE MEDIUM STORING DISTRIBUTION PROGRAM

(54) 発明の名称: 情報配信装置、同方法および同プログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体



(57) Abstract: An information distribution system provided with the instant messaging functions including distribution of advertisements and news. When receiving an initial signal (31) associated with a connection request from a subscriber in a terminal group (20A), a main server (11) sends a terminal group (20B) the current IP address used by the terminal group (20A). Thereafter the two terminal groups (20A, 20B) exchanged messages directly by message signals (32). The main server (11) analyzes the attributes of the subscribers of the terminal groups (20A, 20B) and distributes appropriate ones of stored advertisements to the terminal groups (20A, 20B).

[続葉有]

WO 01/29675 A1



(84) 指定国 (広域): ARIPO 特許 (GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE), OAPI 特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(57) 要約:

インスタントメッセージングに広告又はニュースその他の情報配信機能を持たせた情報配信装置であり、端末群20Aの加入者からの接続要求に係る初期信号31がメインサーバー11に送られると、メインサーバー11は端末群20Aが現在使用中のIPアドレス情報を端末群20Bに送り、以後両端末群20A、20B間では、メッセージ信号32によって直接メッセージのやり取りをする。この際、メインサーバー11は、端末群20A、20Bの加入者の属性を解析し、内部に蓄積された広告の中から適切なものを各端末群20A、20Bに配信する。

明 細 書

情報配信装置、同方法および同プログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体

技術分野

本発明は、インターネット等のネットワークを利用した広告、ニュース、気象情報又はその他の情報配信装置、同方法および同プログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体に関し、特に、インスタントメッセージングに広告又はニュースその他の情報配信機能を持たせた情報配信装置、同方法および同プログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体に関するものである。

背景技術

インターネットの爆発的な普及に伴い、インターネット発祥の地米国では「バナー広告」がインターネット広告メディアとして隆盛を誇っている。また、従量制の通信料金が支配的な地域では、短時間で接続・切断が可能な「電子メール」の成長に合わせて、「電子メール広告」が採用されることが多い。

例えば、日本国特開平10-320314号公報には、電子メールに広告を挿入して、該電子メールの送受信、転送処理を行う電子メール広告挿入装置が開示されている。該電子メール広告挿入装置によれば、電子メールの発信者が本文または署名部に広告を直接掲載することなく、また、システム側で発信時などすべてのメッセージに対して一律に広告メッセージを挿入する必要がなくなるという効果を有する。しかしながら、受信者が受け取った電子メールを再三開封することは殆ど無く、この点で広告は一過性であり、広告効果の持続力に乏しい。

また、日本国特開平11-3348号公報には、電子対話（チャット）のユーザーに対して宣伝を行うための電子対話用広告装置が開示されている。該電子対話用広告装置によれば、現在主流となっているマスコミによる「大量垂れ流し方式」を排して、「ターゲット狙い撃ち方式」により、電子広告の広告効果とコス

トパフォーマンスを高めることができるものの、やり取りされる対話文を解析することを要件とすることから、ネットユーザーに自分の会話を盗聴されているかの如く不快感を与えかねない。従って、どのような広告であっても広告主のイメージダウンに繋がり、実用することは難しい。

最近、インスタントメッセージング（以下、IMと略記することもある。）と呼ばれる、メッセージをリアルタイムで直接相手方と送受信するシステムが知られるようになってきた。同システムはインターネット網を通じ加入者同士が専用ソフトを使用して、恰もキャッチボールをするようにメッセージを交換するものである。一般的な電子メールシステムは、作成したメールをメールサーバーに一旦送信し、該サーバーに蓄積されたメールを後刻、受信者が受け取りに行くものである。従って、IMは、メールを一方的に出すものではなく、更に、相手からの返信を待つ必要がない点で、電子メールシステムと相違する。

一方、前記チャットは複数の参加者同士がリアルタイムで対話を行うものであるから原則的に1対1でメッセージを交換するIMと異なり、各人の発言は全員にモニターされている。また、チャットの参加者はホストマシンを介して継続的に、即ち、同一CPU上で他の参加者と対話を行うものであるから、IPアドレス情報を交換した後はサーバーを介さず直接メッセージを交換するIMと相違する。

このように、インスタントメッセージングはインターネット網を通じメッセージを電報方式で送受信するものであるが、これに広告配信機能を持たせたシステムは、未だ知られていない。

而して、中小規模事業者や個人事業者にとって、インターネット網を通じて安価に利用できる広告手段は、現在のところ実現されておらず、その出現が渴望されている。

発明の開示

本発明の目的は、インスタントメッセージングに広告又はニュースその他の情報配信機能を持たせた情報配信装置、同方法および同プログラムを記録したコン

ピュータ読取可能な記録媒体を提供し、以て、費用対効果が高く、簡易かつ手軽なネットワークを利用した広告又はニュースその他の情報配信システムを実現することにある。

本発明の情報配信装置は、メッセージ送受信サーバー部および情報配信部を有するメインサーバーと、メッセージ送受信コントロール部および情報コントロール部を有するネットワーク端末とからなる情報配信装置であって、前記メッセージ送受信サーバー部が加入者IDを蓄積するID蓄積部と、加入者のアクセス時に加入者か否かを判断するID判断部と、アクセス端末の現接続時における割当てIPを解析するIPアドレス解析部と、ログイン中の加入者IDとIPアドレスの関係とチャンネルを管理するログイン監視部とを備え、前記情報配信部が、少なくとも表示文字データを含む広告又はニュースその他の情報を蓄積する情報蓄積部と、登録加入者の属性を蓄積する加入者属性情報蓄積部と、加入者の属性情報に基づき前記広告又はニュースその他の情報を選定する情報選定部とを備え、前記メッセージ送受信コントロール部が加入者に割当てられたIDを保持するID保持部と、オンライン時に割り振られるIPアドレスをオフライン手続きまで一時的に記録しておくIPアドレス変換部とを備え、前記情報コントロール部が、前記メインサーバーから送信される広告又はニュースその他の情報を蓄積する情報蓄積部と、該情報中の表示文字データを蓄積する文字情報蓄積部とを備えてなることを特徴とするものである。

この情報配信装置によれば、費用対効果が高く、簡易かつ手軽なネットワークを利用した広告又はニュースその他の情報配信システムを実現することができる。即ち、ネットワーク端末の表示画中に広告等の情報がオンライン中、常時表示されるので、広告効果が極めて大きい。また、加入者の承諾を受けた属性情報を使用して広告配信することを前提とすることができるので、的を絞った広告等の情報提供が可能となりかつ、広告等の情報配信された加入者に不快感を与えることがない。

本発明に係る情報配信装置によれば、広告等の情報はメールまたはメッセージと独立して表示され、メッセージの閲覧の妨げとならない。逆に、広告情報を配

信する立場からすれば、広告情報が独立して表示されるが故に、メッセージと紛れず、広告効果が減殺されることがないという点において、電子メールによる広告装置と相違する。

本発明に係る情報配信装置によれば、インスタントメッセージングにおける送受信以外の作業を端末で行っていても、広告等の情報を配信することができる。前記したチャットを利用した広告装置では、チャット中のみ広告配信が可能である。また、通常、チャットをするために端末を長時間または長期間接続しておくことは考えられず、本発明に係る情報配信装置はこれらの点において、チャットによる広告装置と相違する。

前記情報配信部が、更に、配信情報の個人別履歴データを保存する配信履歴部と、該履歴データを加味して配信するか否かを判断する配信判断部とを備えてなることが好ましい。この情報配信装置によれば、前記効果に加えて、配信情報の過度の重複を避け、無駄な配信をなくすことができる。

前記情報コントロール部が、更に、前記メインサーバーから送信される情報中のURLデータを蓄積するURL蓄積部と、前記蓄積された表示文字データと前記蓄積されたURLデータからHTMLファイルを生成するHTML生成部と、該HTMLファイルを蓄積するHTML蓄積部と、該HTMLファイルを画面表示するためのブラウザを自動起動するブラウザ起動部とを備えてなることが好ましい。この情報配信装置によれば、前記効果に加えて、端末において前記表示情報に関するHTMLファイルを作成することにより、当該表示情報をブラウザにより一覧可能とし、かつ、表示情報の関連サイトへリンクさせたので、表示情報を随時閲覧可能であり、広告効果が持続する。

前記情報コントロール部が、更に、前記メインサーバーから送信される情報中の表示回数に関するデータを蓄積し表示回数を判断する表示回数判断部を備えてなることが好ましい。この情報配信装置によれば、前記効果に加えて、配信情報の過度の重複を避け、無駄な配信をなくすことができる。

本発明の情報配信方法は、メインサーバーと複数の端末とが接続されたネットワーク上において、1端末からの接続要求信号を受信したメインサーバーが該端

末および／または相手端末の現ＩＰアドレス情報をこれらの端末に送ることにより、ＩＰアドレス情報を交換した両端末間で直接メッセージの送受信を可能とし、メインサーバーは、前記各端末の加入者属性に基づき、メインサーバー内部に蓄積された広告又はニュースその他の情報を選定し、前記端末のオンライン接続中、連続的にまたは間欠的に当該情報を各端末に配信することを特徴とするものである。この情報配信方法によれば、費用対効果が高く、簡易かつ手軽なネットワークを利用した広告又はニュースその他の情報配信を実現することができる。

本発明のプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体は、インスタントメッセージングにおけるメッセージ着信をネットワーク端末に表示する処理と、ネットワークサーバーから送信される広告又はニュースその他の情報を同端末に表示する処理と、これらの処理を同時に実施するプログラムを記録してなるものである。このコンピュータ読取可能な記録媒体によれば、費用対効果が高く、簡易かつ手軽なネットワークを利用した広告又はニュースその他の情報配信を実現することができる。

前記プログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体は、前記ネットワークサーバーから送信される情報中の表示文字データとＵＲＬデータとからＨＴＭＬファイルを生成し、該ＨＴＭＬファイルを端末に表示するプログラムを記録してなることが好ましい。このコンピュータ読取可能な記録媒体によれば、表示情報に関するＨＴＭＬファイルをブラウザにより一覧可能であり、表示情報の閲覧が容易となる。

前記プログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体は、前記ＨＴＭＬファイルが、特定ＵＲＬへのリンク処理と該特定ＵＲＬについてのクリック信号の送信処理とからなるワンクリックダブルアクションプログラムを内包することが好ましい。このコンピュータ読取可能な記録媒体によれば、特定ＵＲＬへのリンクにより詳細情報が瞬時に入手可能となる。また、クリック信号の送信により、「広告の配信数」と「クリック実績数」の２つを広告料金の基準とすることができる。

本発明のプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体は、ネットワ

ーク端末からの接続要求を受けて該端末と被接続端末間のインスタントメッセージングを可能とし、予め登録されている前記各端末の加入者属性を解析してネットワークサーバー内部に蓄積された広告又はニュースその他の情報を選定し、前記端末のオンライン接続中、連続的にまたは間欠的に当該情報を各端末に配信するプログラムを記録してなるものである。このコンピュータ読取可能な記録媒体によれば、費用対効果が高く、簡易かつ手軽なネットワークを利用した広告又はニュースその他の情報配信を実現することができる。

前記プログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体は、前記処理に加えて、広告主側のネットワーク端末から送信される広告原稿情報および銀行側のネットワーク端末から送信される入金情報を受け付け、前記受け付けた両情報を照合するプログラムを記録してなることが好ましい。このコンピュータ読取可能な記録媒体によれば、広告の入稿管理運用コストを低減することができる。また、その反射的效果として、中小事業者、個人事業者に対しても、低廉な広告手段を提供することができる。

図面の簡単な説明

図 1 は本発明に係る情報配信方法の全体像を示す説明図である。

図 2 はインスタントメッセージング装置のブロック構成図である。

図 3 はインスタントメッセージング装置を構成する端末の、待機時におけるモニターの表示例である。

図 4 は広告を一覧形式で表示するブラウザの起動画面例である。

図 5 は情報配信装置における端末の構成を示すブロック構成図である。

図 6 は情報配信装置におけるメインサーバーのブロック構成図である。

図 7 はメインサーバーにおける広告情報の選定手順を示すフロー図である。

図 8 は広告配信装置における入稿管理システムの説明図である。

図 9 は入稿管理サーバーへの入稿フォーマットのモニター表示例を示す。

発明を実施するための最良の形態

以下、インスタントメッセージング（IM）を利用した広告配信装置と広告配信方法に係る好適な実施形態を、図面を参照しながら説明する。

（１）IMの概要

図１は、本発明システムの全体像を示す説明図であり、点線枠で囲まれた本システムの運用センター１０と、ネットワーク端末群２０Ａ、２０Ｂは、インターネット網３０により接続されている。運用センター１０には、メッセージ送受信システムの管理機能とニュース又は広告等の情報（以下、広告によって代表する。）を端末群２０Ａ、２０Ｂに配信する機能を持つメインサーバー１１と、入稿管理サーバー１２と、端末群２０Ａ、２０Ｂから送信されてくる「リンク情報」を受信するクリック解析サーバー１３が設置されている。なお、上記各サーバー１１、１２、１３は、１つのネットワークサーバー装置としてもよいが、サーバー機能を説明する便宜上分離したものである。また、符号４０は後述する銀行サーバーである。

図１には、ネットワーク端末群２０Ａ、２０Ｂの加入者がメッセージ送受信システムにログインした際の初期信号３１、その後に加算者間を行き交うメッセージ信号３２、広告の配信信号３３、特定URLのクリック信号３４、の各経路が示されている。また、符号３１０は端末群２０Ａ、２０Ｂにおけるメッセージ送受信システムの待機時の表示画である。

図１において、端末群２０Ａを操作する加入者からの接続要求に係る初期信号３１がメインサーバー１１に送られると、メインサーバー１１は端末群２０Ａが現在使用中のIPアドレス情報を端末群２０Ｂに送り、以後両端末群２０Ａ、２０Ｂ間では、メッセージ信号３２によって直接メッセージのやり取りをする。この際、メインサーバー１１は、端末群２０Ａ、２０Ｂを操作する加入者の属性を解析し、内部に蓄積された広告の中から適切なものを各端末群２０Ａ、２０Ｂに配信するものである。

（２）IM装置の構成

先ず、図２に示すメッセージ送受信装置のブロック図により、メッセージ送受

信システムを説明する。

図2において、加入者側の端末A、端末Bにはメッセージ送受信コントロール部100、140が置かれ、センター側のサーバーにはメッセージ送受信サーバー部120が設けられている。これらの各部には、各部がその機能を遂行するために通常備えるべき構成部を有している。即ち、それらは各部100、120、140の動作を制御する制御部101、121、141と、各部のデータ処理を行う処理部102、122、142と、図示してない各種入出力周辺装置及びネットワークに接続される入出力インターフェース103、123、143と、該入出力インターフェース103、123、143から夫々データを受け取る入力部104、124、144と、データを出力する出力部105、125、145と、データを記憶する記憶部106、126、146と、メッセージデータを送信する送信部107、127、147と、メッセージデータを受信する受信部108、128、148である。

端末Aと端末Bのメッセージ送受信コントロール部100、140には、前記通常備えるべき構成部に加え更に夫々、各加入者にセンターより割り当てられたIDを保持するID保持部111、151と、オンライン時に各自加入のプロバイダより割り振られるIPアドレスをオフライン手続きまで一時的に記録しておくIPアドレス変換部112、152とを備えている。また、メッセージ送受信コントロール部100、140はネット加入者の中からID交換者を選んでその加入者IDを予め自端末内に蓄積しておくためのID蓄積部113、153を備えることが好ましい。

また、メッセージ送受信サーバー部120には、前記通常備えるべき構成部に加え更に、加入者IDを蓄積するID蓄積部131と、各加入者のアクセス時に加入者か否かを判断するID判断部132と、アクセス端末がネットワーク接続時にプロバイダから割り当てられた使用IPアドレスを解析するIPアドレス解析部133と、ログイン中の各加入者IDとIPアドレスの関係とチャンネルを管理するログイン監視部134と、を備えている。

(3) IMの送信機能

上記メッセージ送受信装置の作用について、始めに送信機能を説明する。送信機能を作動させるには、送信者側の端末Aにおいて、制御部101の指示により入出力インタフェース103を介して送信データを入力し、入力部104に読み込む。入力されたデータは制御部101の指示により記憶部106に転送され、記憶部106は当該データを制御部101の指示により記憶する。入力部104に指示コマンドが入力された場合は制御部101の指示により指示コマンドを処理部102に送信する。処理部102は制御部101の指示により指示コマンドを解析し、当該処理を行うためのデータを記憶部106に指示する。記憶部106は制御部101の指示により処理データを送信部107に送り、送信部107は制御部101の指示により入出力インタフェース103を介してネットワーク上に処理結果を送信する。

送信されたメッセージデータは、ネットワークを通じ、サーバーの入出力インタフェース123を介して受信部128に受信される。受信されたデータは制御部121の指示により記憶部126に転送され、記憶部126は当該データを制御部121の指示により記憶する。この時点から受信データは、制御部121の指示によりログイン監視部134の監視体制下に置かれる。記憶された受信データは、制御部121の指示により、処理部122を通じID蓄積部131によるIDの照合が行われ、ID判断部132により登録IDか否かが判断される。登録IDであると判断された受信データについては、制御部121の指示によりIPアドレス解析部133により、処理部122を通じ受信データの自IPアドレスが解析される。このとき解析された自IPアドレスはログイン監視部134に保管される。処理部122は解析されたIPアドレスをID、メッセージと共に連結形式に組み立てる。さらに、送信先IPアドレスを前記同様に解析し、ログイン監視部134に保管されているログイン中の送信先IPアドレスとIDを変換して送信部127に送信し、送信部127は制御部121の指示により入出力インタフェース123を介してネットワーク上に処理結果を送信する。

(4) IMの受信機能

次に、本装置において受信機能を作動させるには、図2に示す受信者側の端末

Bにおいて、入出力インタフェース部143を介して送信されてきたデータを、制御部141の指示により受信部148で受信する。受信したデータは制御部141の指示により処理部142に送信され、処理部142は制御部141の指示により当該データを記憶部146に転送し、記憶部146は当該データを制御部141の指示により記憶する。処理部142は、制御部141の指示を受け、出力部145を通じ図示していないモニター等の表示装置に着信信号を送る。この着信信号を認知した受信者は、モニター上でメッセージを開く行為に入る。当該行為により入力部144にコマンドが入力され、制御部141の指示によりコマンドを処理部142に送信する。処理部142は制御部141の指示によりコマンドを解析し、当該処理を行うためのデータを記憶部146に指示する。記憶部146は制御部141の指示により処理データを出力部145に送信し、出力部145は制御部141の指示により入出力インタフェース143を介して受信者のモニターに表示する。

このようにして第1報を送受信した各端末A、端末Bは、相手の現在使用中のIPアドレスを認識しているため、次の第2報からは、サーバーを経由せず直接ネットワーク160を介して各端末A、端末Bの入出力インタフェース103、143を接続してメッセージの送受信を行うことができる。

図3は、インスタントメッセージング装置を構成する端末A、端末Bの待機時におけるモニター300の表示例であり、モニター300の上部には帯状のウィンドー310が表示されている。

ウィンドー310中には、上記したメッセージ送受信動作を端末側から操作するのに必要な動作ボタンと表示部が配置される。ウィンドー310の左側には、オンライン接続または切断コマンドを発信する接続ボタン311と切断ボタン312、およびこのウィンドー310全体をコントロールするメインメニューを選択することのできるプルダウンメニュー313が配置されている。ウィンドー310の上段には、予め登録しておいたネットワーク加入者のメッセージ着信表示板314と、登録加入者をグループ別に分けて選択可能なプルダウンメニュー315が配置される。ウィンドー310の右側には、メッセージ着信を受けてメッ

セージウィンドーを開く受信ボタン 3 1 6 と、送信メッセージを作成するウィンドーを開く作成ボタン 3 1 7 が配置される。そして、これらの動作ボタンと表示部は前記した対応するメッセージ送受信動作において操作され、かつ、表示される。即ち、端末 A 宛に外部よりメッセージが送信された場合、端末 A の IM 装置が該送信者を認識し、それが端末 A においていずれのグループに所属するかを判断し、グループ名 3 1 5 を表示すると同時に、送信者をメッセージ着信表示板 3 1 4 に点灯表示させる。そこで、端末 A を操作する加入者は、点灯している表示板をクリックし、さらに受信ボタン 3 1 6 をクリックすることにより、メッセージウィンドーを開き、そのメッセージを読むことが可能になる。

(5) 広告配信システムの概要

以上、インスタントメッセージングシステムを説明したが、上記ウィンドー 3 1 0 の下段には、広告情報を表示するための表示欄と動作ボタンが配置されている。これらは、広告情報を表示する情報表示欄 3 2 0 と、表示した広告情報をシステムが指定する順序に関係なく再表示するリプレイボタン 3 2 1 と、表示した広告情報の一覧を閲覧するための閲覧ボタン 3 2 2 である。情報表示欄 3 2 0 の形状は、スペースセーブの観点から横長のストリップとして文字情報を右方から左方へ流すようにすることが好ましい。また、前記表示情報の一覧は、HTML 情報としてブラウザを起動して閲覧可能とすることが好ましい。更に、ウィンドー 3 1 0 中には広告情報の配信履歴メニューを付加することも可能であり、これにより過去に遡った広告情報の閲覧可能となり、広告効果の持続性を一層高めることができる。

続いて、ウィンドー 3 1 0 における広告表示動作を説明する。

モニター 3 0 0 の情報表示欄 3 2 0 には、オンライン接続中であれば、メッセージ送受信、メッセージ作成中、待機中などいずれの状態であっても、連続的にまたは間欠的に広告が表示される。表示された広告を目に留めた端末加入者は、メッセージ送受信作業終了後または作業中、随時、閲覧ボタン 3 2 2 をクリックすることにより表示された広告の一覧を閲覧することができる。

図 4 はブラウザの起動画面例であり、広告が一覧形式で表示されている。そこ

で興味のある、または表示中に意識された該当項目をクリックすれば、予め指定されたURLにリンクするものである。また、この時、指定URLへのリンクと同時に、クリック情報も発信されるが、この点については後述する。

(6) 広告配信装置（端末側）

図5は、ネットワーククライアントとしての端末の構成を示すブロック図であり、該端末には、メッセージ送受信コントロール部と情報コントロール部が設けられている。メッセージ送受信コントロール部100、140については既に図2で説明したので、ここでは情報コントロール部について説明する。

情報コントロール部も、その機能を遂行するために通常備えるべき構成部を有しており、それらは当該情報コントロール部の動作を制御する制御部501と、データ処理を行う処理部502と、図示してない各種入出力周辺装置及びネットワークに接続される入出力インターフェース503と、該入出力インターフェース503からデータを受け取る入力部504と、データを出力する出力部505と、データを記憶する記憶部506と、広告情報等の情報データを送信する送信部507と、同情報データを受信する受信部508である。

情報コントロール部は、前記通常備えるべき構成部に加え更に、メインサーバー11から送信される広告情報を蓄積する情報蓄積部511と、該情報の表示文字データを蓄積する文字情報蓄積部512と、該情報のURLデータを蓄積するURL蓄積部513と、該情報の表示回数に関するデータを蓄積し表示回数を判断する表示回数判断部514と、前記表示文字データとURLデータから、HTMLファイルを生成するHTML生成部515と、このHTMLファイルを蓄積するHTML蓄積部516と、HTMLファイルを画面表示するためのブラウザを自動起動するブラウザ起動部517と、を備えている。

上記端末の情報コントロール部の作用を説明する。

メインサーバー11から送信された広告情報は、入出力インターフェース503を介して受信部508に受信され、そのデータは制御部501の指示を受け、処理部502により記憶部506へ転送される。転送されたデータは制御部501の指示を受け、処理部502により広告情報中の文字情報、URL、および表

示回数の各データが解析され、夫々、文字情報蓄積部 5 1 2、URL 蓄積部 5 1 3、表示回数判断部 5 1 4 に保存されると共に、元の広告情報は、制御部 5 0 1 の指示を受け、処理部 5 0 2 により情報蓄積部 5 1 1 に格納される。

記憶部 5 0 6 に記憶された上記データは、制御部 5 0 1 の指示を受け、HTML 生成部 5 1 5 において文字情報蓄積部 5 1 2 と URL 蓄積部 5 1 3 のデータを基に HTML ファイル化され、制御部 5 0 1 の指示を受けた処理部 5 0 2 により HTML 蓄積部 5 1 6 に蓄積される。なお、上記 HTML ファイル化は、HTML 生成部 5 1 5 に予め用意されたファイルフォーマットの一部に対して、文字情報蓄積部 5 1 2 に蓄積された文字を置き換え、かつ、対応する URL 蓄積部 5 1 3 の URL も同時に置き換えることにより行うことが好ましい。

上記 HTML ファイル化により、図 4 に示したような広告情報の一覧表示が可能となる。また、「ワンクリック、ダブルアクション」プログラムを内包する HTML ファイルを生成することができる。「ワンクリック、ダブルアクション」とは、「特定の行またはボタンをクリックする」というイベント発生に対し「2 つの作業を同時に行う」というものであり、Java または JavaScript 等の言語によって作成することができる。本実施形態において、1 作業が「指定 URL へのリンク」であり、他の作業は「このクリック行為は、ID 番号何番が、何処の URL にリンクしました。」という特定 URL のクリック信号 3 4 を、ネットワークを介して指定したサーバー（図 1 におけるクリック解析サーバー 1 3）に対し送信するというものである。

この後者の作業により、クリック解析サーバー 1 3 は、メインサーバー 1 1 から配信された広告が加入者の端末でクリックされ、リンク情報先を閲覧したことを知ることが可能になる。この結果、本広告配信システムにおいては、メインサーバー 1 1 から加入者の端末に配信された「広告の配信数」と、当該配信された広告を加入者がクリックしてリンク先の広告情報を実際に見たことを示す「クリック実績数」の 2 つを、広告料金の基準とすることができる。

文字情報蓄積部 5 1 2 に蓄積された文字データは、制御部 5 0 1 の指示を受けた処理部 5 0 2 により出力部 5 0 5 へ転送され、転送された文字データは制御部

501の指示を受け、表示回数判断部514により表示回数を指定され、入出力インターフェース503を介して図3に示すモニター300の情報表示欄320にテロップ表示される。

ここで表示された広告文字データは、図3の閲覧ボタン322をクリックすることにより、入出力インターフェース503を介して入力部504に指示コマンドが入力され、それを認識した制御部501の指示により処理部502を通じてブラウザ起動部517により使用ブラウザが起動されると共に、制御部501の指示を受けた処理部502によってHTML蓄積部516からHTML化ファイルが記憶部506に転送され、さらに出力部505、入出力インターフェース503を介し、図4に示すようにブラウザ内に表示される。ブラウザ内に表示された広告文字データは、前記のようにクリック行為により予め指定されたURLへとジャンプし、かつ、クリック情報をアクセス解析データとしてクリック解析サーバー13に送信する。

(7) 広告配信装置（サーバー側）

次に、メインサーバー11による端末への広告配信方法を、図6に示すメインサーバー11のブロック構成図を用いて説明する。

図6において、制御部121、処理部122、入出力インターフェース123、入力部124、出力部125、記憶部126、送信部127、受信部128、ID蓄積部131、ID判断部132、IPアドレス解析部133、ログイン監視部134の夫々については、既に図2において、メインサーバー11のメッセージ送受信サーバー部120の構成部として説明したので、図6に同一の符号を付してその説明を省略する。メインサーバー11は、広告その他の情報配信機能を実現するために、上記構成部に加えて、広告情報を蓄積する情報蓄積部601と、予め登録されたメッセージ送受信システム加入者の属性（氏名、住所、性別、年齢、職業、趣味など）を蓄積する加入者属性情報蓄積部602と、加入者属性情報と広告配信条件を解析し、広告情報を選定する情報選定部603と、選定された情報を次記する配信履歴部605の配信歴と配信条件を解析し、配信するか判断する配信判断部604と、配信された広告情報の個人別履歴データを保存する

配信履歴部 6 0 5 とを有している。これらメインサーバー 1 1 に設けられる情報配信部の主構成部は、符号 6 0 1 ～ 6 0 5 として、図 6 において太線枠で図示されている。

メインサーバー 1 1 では先ず、メッセージ送受信システムによりメッセージ交換しようとログインしてきた加入者の端末 A と相手端末 B に対し、制御部 1 2 1 の指示を受けた処理部 1 2 2 が、各加入者の加入者属性情報を加入者属性情報蓄積部 6 0 2 に問合せ、その情報を得る。次に、制御部 1 2 1 の指示を受けた処理部 1 2 2 は、情報蓄積部 6 0 1 に蓄積された広告主からの配信者属性に対する指定条件と、配信者側の属性との条件一致による選定を情報選定部 6 0 3 に行わせる。選定された広告に対し、制御部 1 2 1 に指示された配信判断部 6 0 4 は、配信履歴部 6 0 5 の加入者個人別配信履歴情報を参照し、配信の重複度を判定して配信するか否かを判断し、処理部 1 2 2 に指示する。指示を受けた処理部 1 2 2 は、前出の結果を送信部 1 2 8 に転送し、入出力インターフェース 1 2 3 を介してネットワークを通じ、配信指示者に配信する。

メインサーバー 1 1 における上記広告情報の選定手順を、図 7 に示すフロー図を用いて詳述する。

メッセージ送受信システムの使用者がメッセージ送受信システムを用いてメッセージの送受信要求信号をメインサーバー 1 1 に送信し、それをメインサーバー 1 1 が受信すると (7 0 1)、メインサーバー 1 1 はその信号を基に送受信加入者を解析し各属性を確認する (7 0 2)。メインサーバー 1 1 は両者の属性を比較解析し (7 0 3)、両者 (または 3 者以上) の属性に一致部分が存在する場合には、配信すべき広告を選定する際の共通した検索キーを新たに作成する (7 0 4)。もし、両者 (または 3 者以上) に共通の属性が存在しない場合には、夫々の属性キーを引用し (7 0 5)、別々の広告を選定する (7 0 8)。なお、この選定に至る過程で前記キーに該当する広告情報の有無をチェックし (7 0 6)、該当する広告情報が存在しない場合には、予め用意してある広告又はニュース等の情報によって代替する (7 0 7)。

次に、上記選定された広告は、配信予定者の個人転送履歴を参照比較すること

により（７０９）、同一広告の多重配信を防止する。ただし、多重化許可の付帯条件が広告情報に付随している場合にはその付帯条件と比較して（７１０）、付帯条件に合った範囲内で多重化を可能とする。上記手順でピックアップされた広告情報が、先に予定された配信者に送信される（７１１）。

（８）広告配信装置における入稿管理システム

続いて、広告配信装置における入稿管理サーバー１２の構成と作用を説明する。

図８は、図１に示したＩＭを利用した広告配信システムを、入稿管理サーバー１２を中心として書き変えた説明図であり、広告原稿蓄積部８０２と振込情報蓄積部８０３とを備えた入稿管理サーバー１２を中心に、その右側には銀行サーバー４０が配置され、左側にはネットワーク上で広告の入稿を希望する広告主、広告代理店側のネットワーク端末８０１が示されている。

入稿管理サーバー１２は次の３機能を有している。

- （ｉ）ネットワーク上から広告原稿等の情報を受け付ける機能。
- （ii）銀行サーバー４０から送信される入金情報を受け付ける機能。
- （iii）前記受け付けた広告原稿等の情報に対応する入金を確認し、入金済となった広告原稿等の情報をメインサーバー１１へ転送する機能。

個人事業者等の小口広告主は、随時、自端末８０１から入稿を行うことができる。入稿フォーマットのモニター表示例を図９に示すが、このフォーマットでは、ニュース・広告メッセージ、連結ＵＲＬ、各種配信条件を入力するようになっている。入稿された広告データは、ネットワークを経由して入稿管理サーバー１２の広告原稿蓄積部８０２に蓄積される。広告主は必要により本システム運用者の指定銀行口座に広告料金を振り込むが、その振込み情報は、指定銀行のサーバー４０より入金情報（金額、振込者名、連絡電話番号など）として入稿管理サーバー１２に送信され、その振込情報蓄積部８０３に蓄積される。入稿管理サーバー１２は、広告原稿蓄積部８０２と振込情報蓄積部８０３に蓄積された各データを入金情報受信を機会として比較解析する。前記両データが符合する場合には、管理サーバー１２は当該広告データをメインサーバー１１に送信し、メインサーバー１１は前記したようにメッセージ送受信システムの端末群２０に広告配信する。

上述したメインサーバー 11 のメッセージ送受信サーバー部 120 および情報配信部と、端末 A、B のメッセージ送受信コントロール部 100、140 および情報コントロール部における各処理は、コンピュータプログラムにより実現され、同プログラムは CD-ROM、DVD-ROM などのコンピュータ読み取り可能な記録媒体に処理プログラムとして記録しておくことができる。

請 求 の 範 囲

1. メッセージ送受信サーバー部および情報配信部を有するメインサーバーと、メッセージ送受信コントロール部および情報コントロール部を有するネットワーク端末とからなる情報配信装置であって、

前記メッセージ送受信サーバー部が加入者IDを蓄積するID蓄積部と、加入者のアクセス時に加入者か否かを判断するID判断部と、アクセス端末の現接続時における割当てIPを解析するIPアドレス解析部と、ログイン中の加入者IDとIPアドレスの関係とチャンネルを管理するログイン監視部とを備え、

前記情報配信部が、少なくとも表示文字データを含む広告又はニュースその他の情報を蓄積する情報蓄積部と、

登録加入者の属性を蓄積する加入者属性情報蓄積部と、加入者の属性情報に基づき前記広告又はニュースその他の情報を選定する情報選定部とを備え、

前記メッセージ送受信コントロール部が加入者に割当てられたIDを保持するID保持部と、

オンライン時に割り振られるIPアドレスをオフライン手続きまで一時的に記録しておくIPアドレス変換部とを備え、

前記情報コントロール部が、前記メインサーバーから送信される広告又はニュースその他の情報を蓄積する情報蓄積部と、

該情報中の表示文字データを蓄積する文字情報蓄積部とを備えてなる情報配信装置。

2. 前記情報配信部が、更に、配信情報の個人別履歴データを保存する配信履歴部と、該履歴データを加味して配信するか否かを判断する配信判断部とを備えてなる請求項1記載の情報配信装置。

3. 前記情報コントロール部が、更に、前記メインサーバーから送信される情報中のURLデータを蓄積するURL蓄積部と、前記蓄積された表示文字データ

と前記蓄積されたURLデータからHTMLファイルを生成するHTML生成部と、該HTMLファイルを蓄積するHTML蓄積部と、該HTMLファイルを画面表示するためのブラウザを自動起動するブラウザ起動部とを備えてなる請求項1または請求項2記載の情報配信装置。

4. 前記情報コントロール部が、更に、前記メインサーバーから送信される情報中の表示回数に関するデータを蓄積し表示回数を判断する表示回数判断部を備えてなる請求項1～請求項3記載の情報配信装置。

5. メインサーバーと複数の端末とが接続されたネットワーク上において、1端末からの接続要求信号を受信したメインサーバーが該端末および／または相手端末の現IPアドレス情報をこれらの端末に送ることにより、IPアドレス情報を交換した両端末間で直接メッセージの送受信を可能とし、メインサーバーは、前記各端末の加入者属性に基づき、メインサーバー内部に蓄積された広告又はニュースその他の情報を選定し、前記端末のオンライン接続中、連続的にまたは間欠的に当該情報を各端末に配信することを特徴とする情報配信方法。

6. インスタントメッセージングにおけるメッセージ着信をネットワーク端末に表示する処理と、ネットワークサーバーから送信される広告又はニュースその他の情報を同端末に表示する処理と、これらの処理を同時に実施するプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体。

7. 前記ネットワークサーバーから送信される情報中の表示文字データとURLデータとからHTMLファイルを生成し、該HTMLファイルを端末に表示するプログラムを記録した請求項6記載のコンピュータ読取可能な記録媒体。

8. 前記HTMLファイルが、特定URLへのリンク処理と該特定URLについてのクリック信号の送信処理とからなるワンクリックダブルアクションプログラムを内包する請求項7記載のコンピュータ読取可能な記録媒体。

9. ネットワーク端末からの接続要求を受けて該端末と被接続端末間のインスタントメッセージングを可能とし、予め登録されている前記各端末の加入者属性を解析してネットワークサーバー内部に蓄積された広告又はニュースその他の情報を選定し、前記端末のオンライン接続中、連続的にまたは間欠的に当該情報を

各端末に配信するプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体。

10. 前記処理に加えて、広告主側のネットワーク端末から送信される広告原稿情報および銀行側のネットワーク端末から送信される入金情報を受け付け、前記受け付けた両情報を照合するプログラムを記録した請求項9記載のコンピュータ読取可能な記録媒体。

図 1

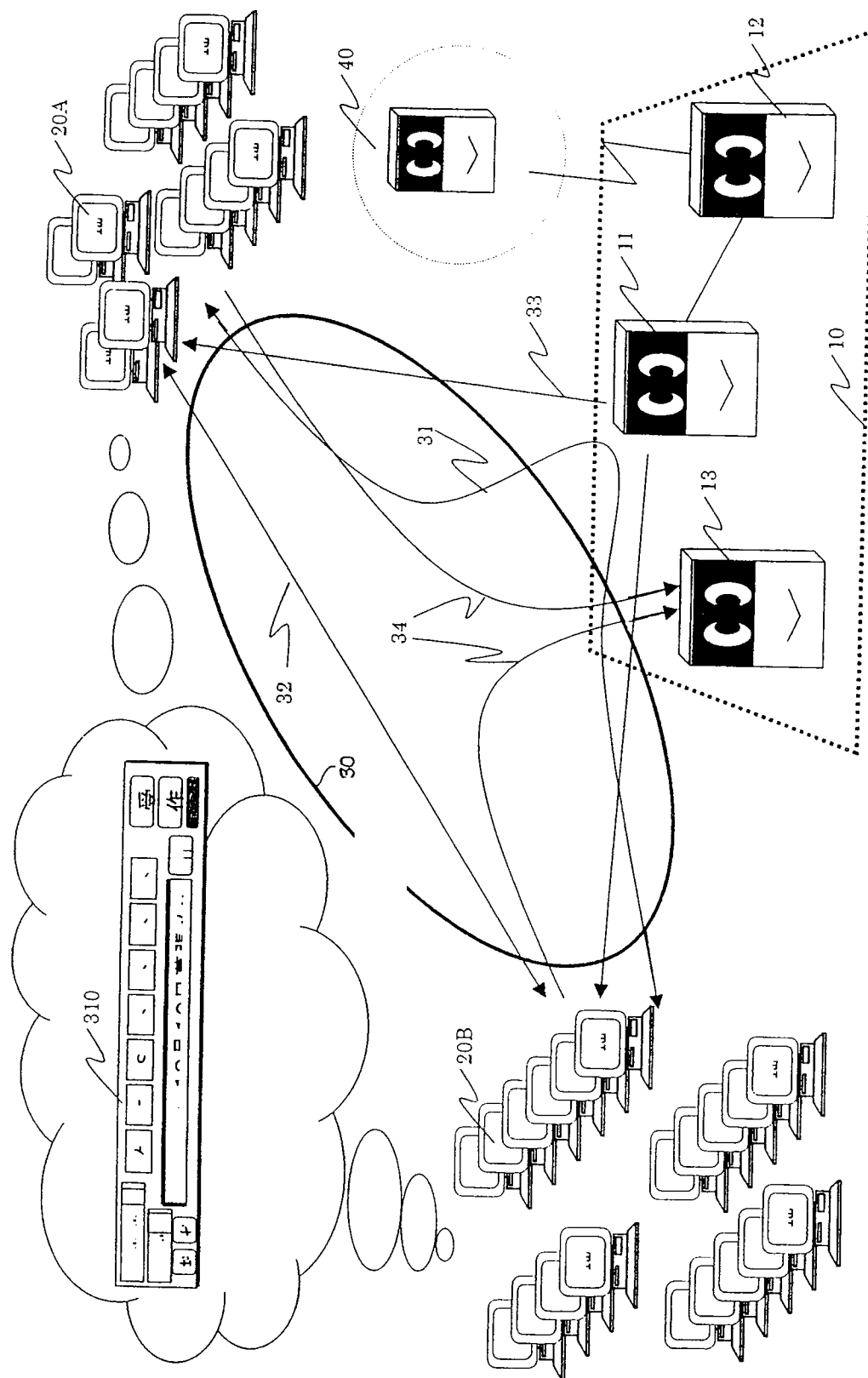


図 2

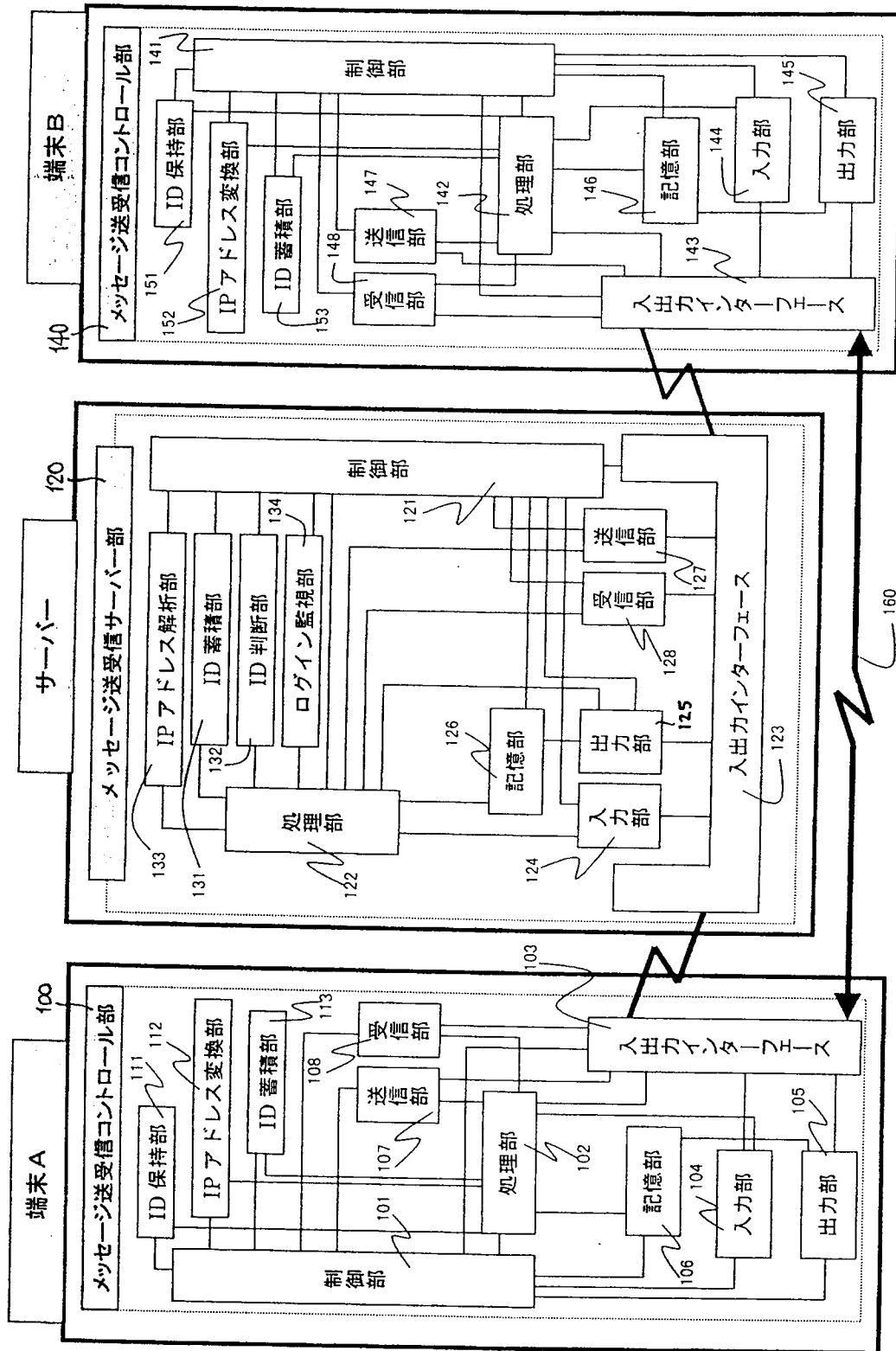


図 3

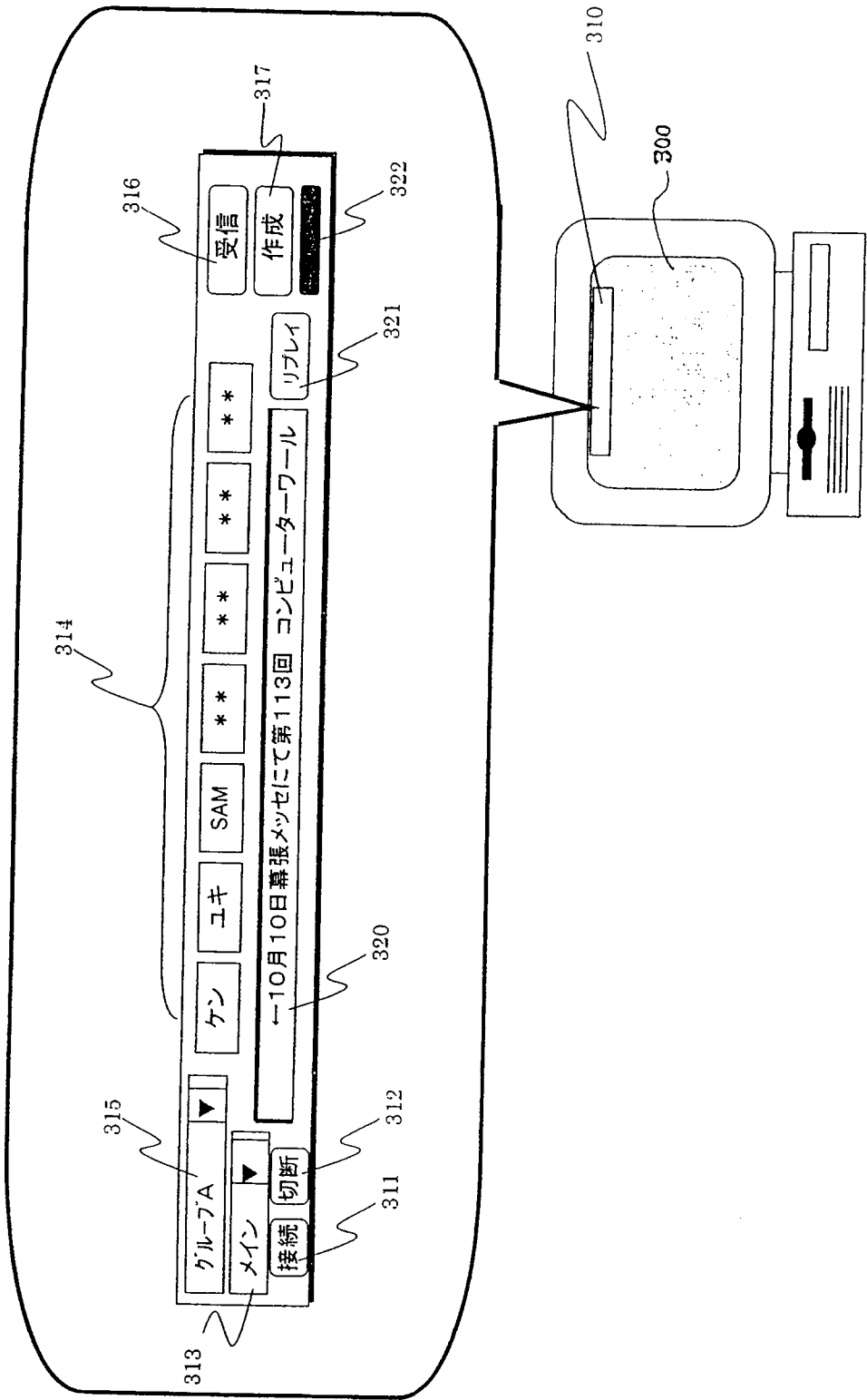


図 4

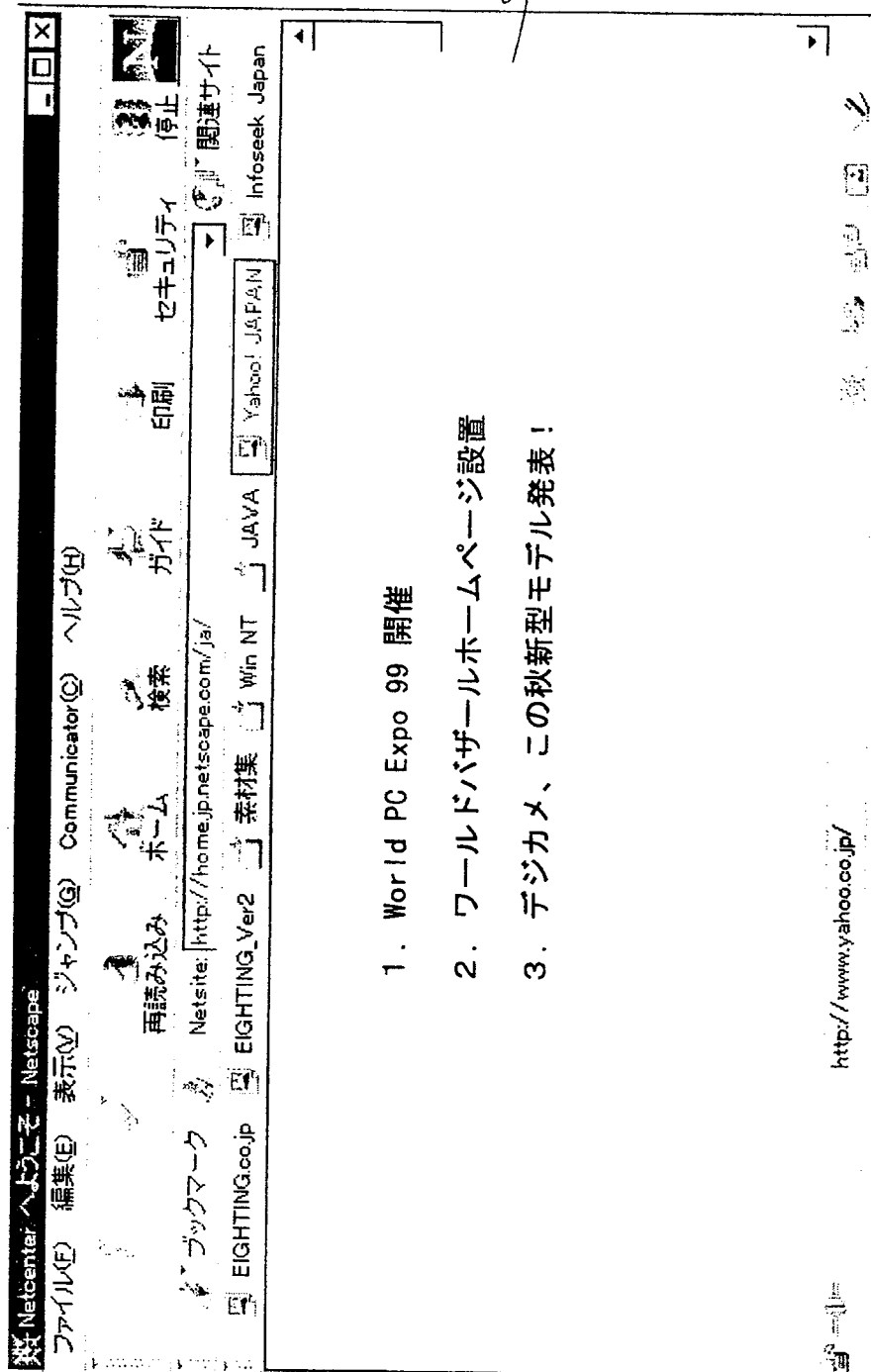


図 5

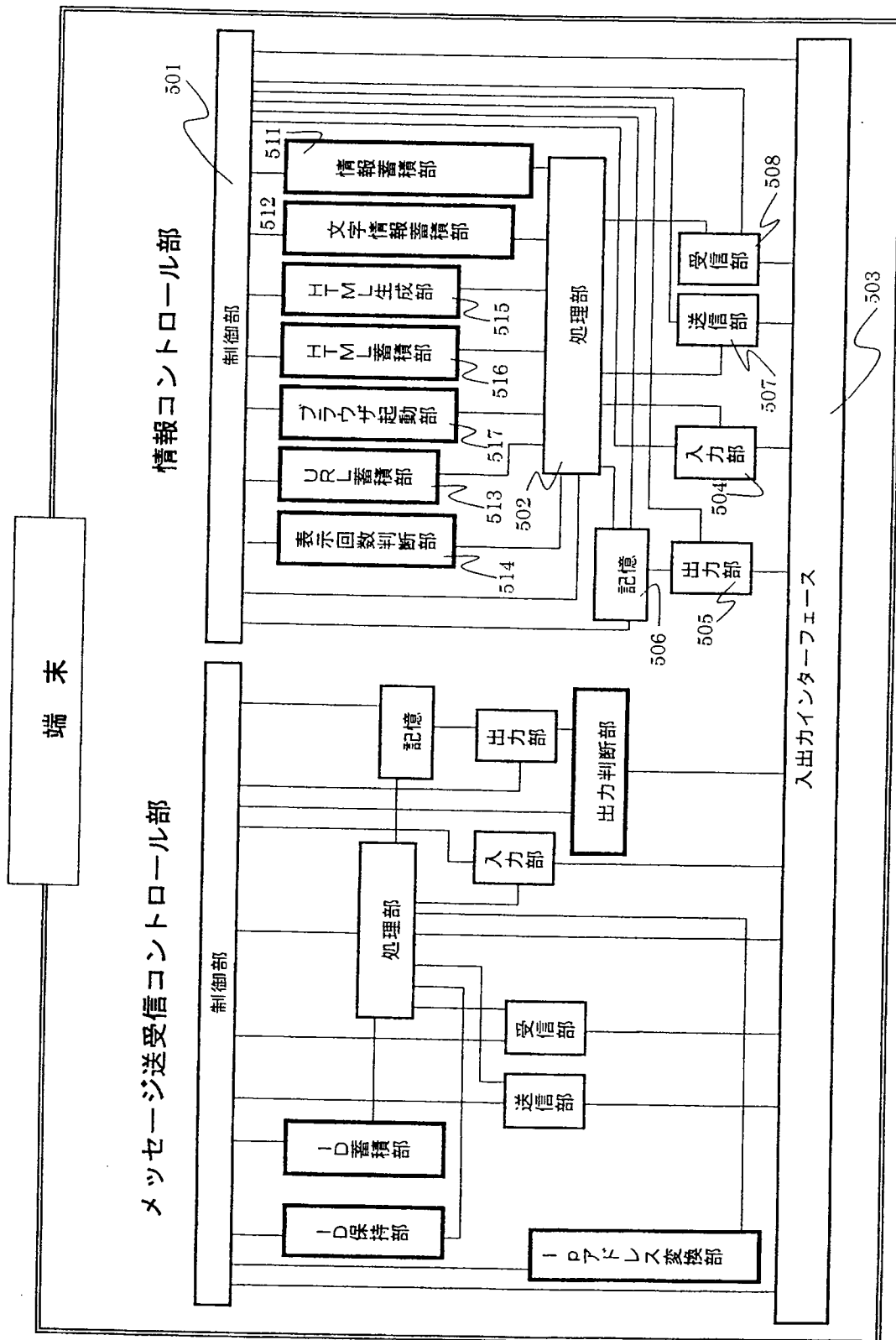


図 6

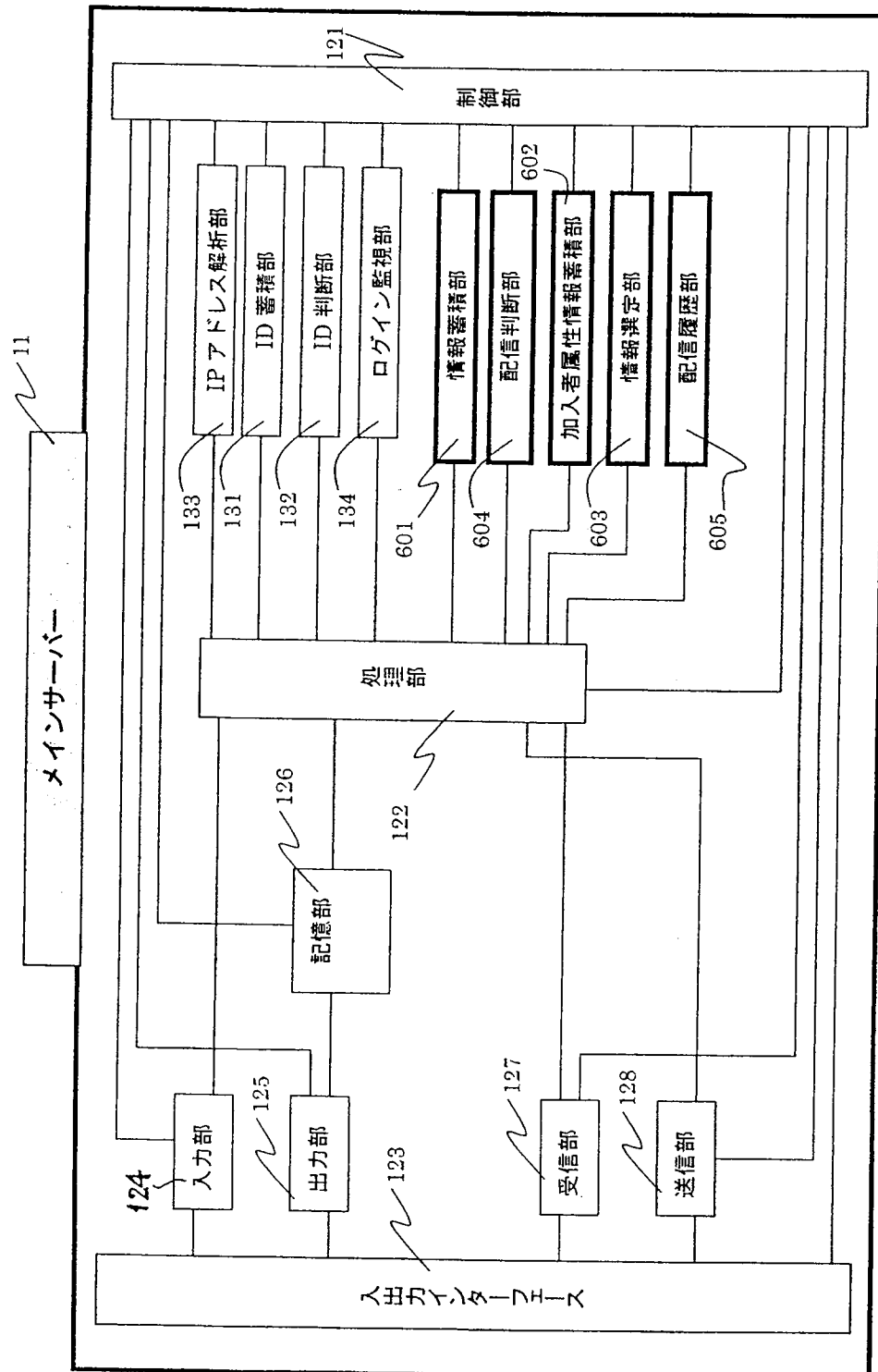


図 7

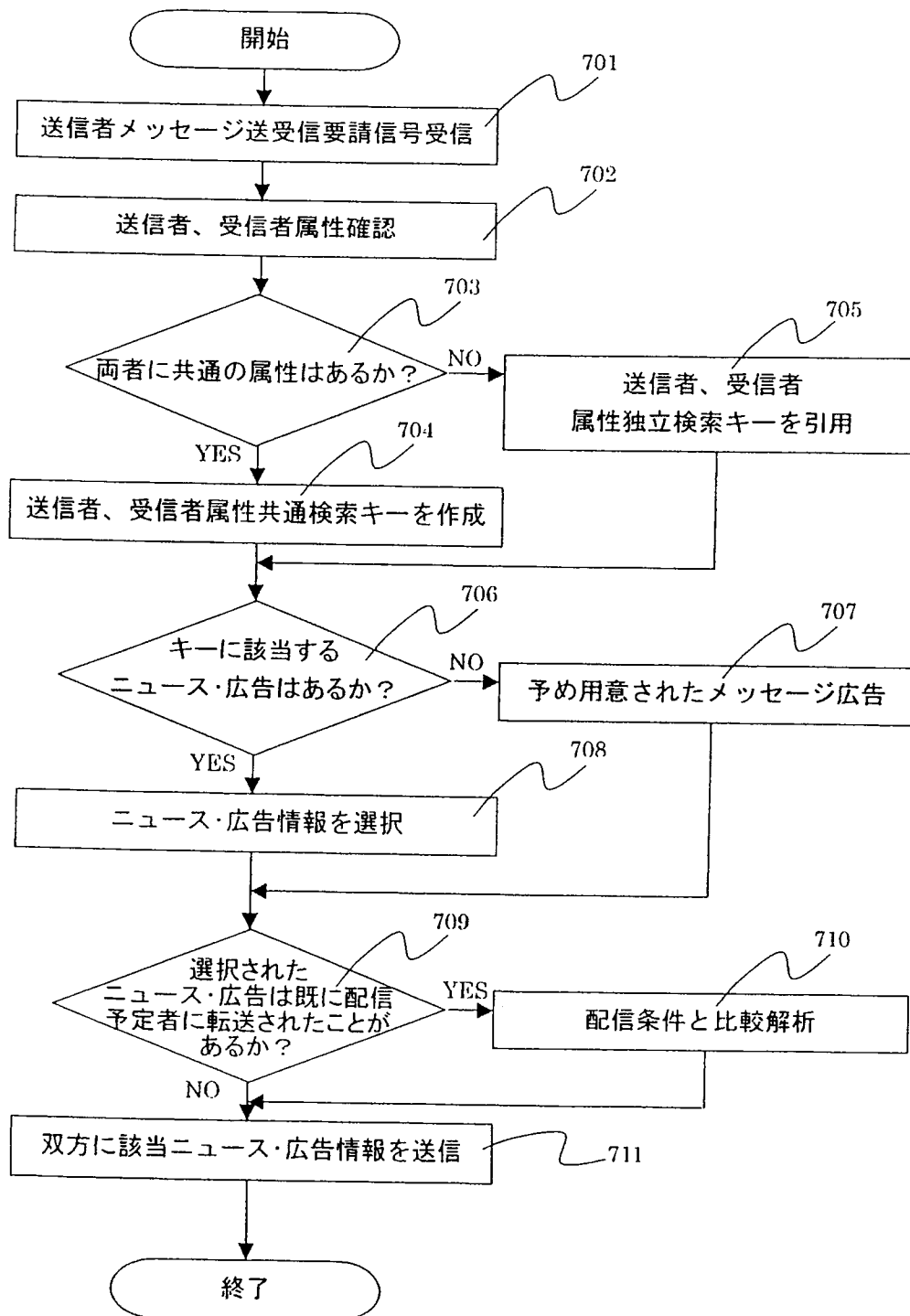


図 8

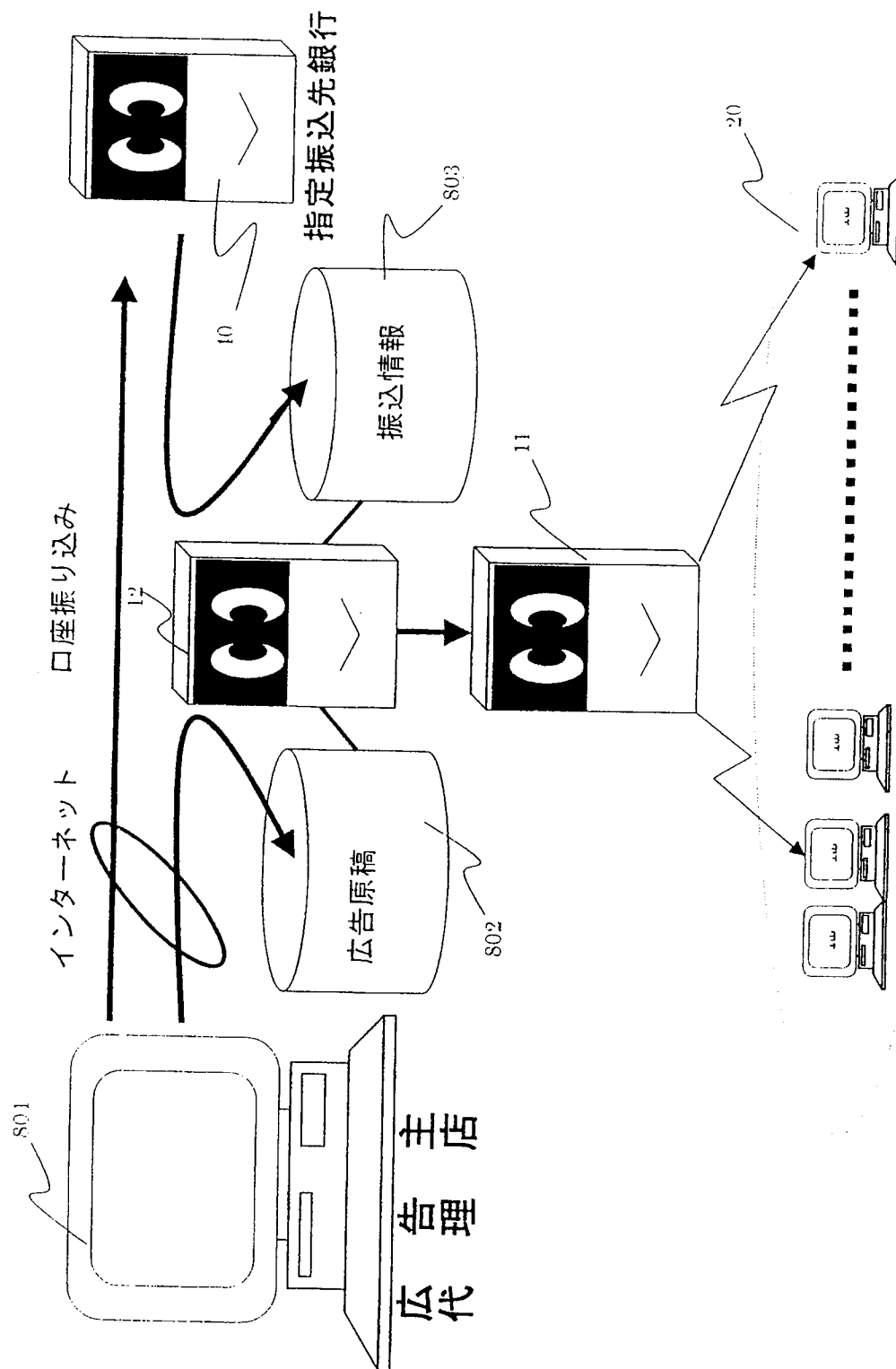


図 9

The diagram shows a form for setting advertisement message distribution conditions. It consists of a main rounded rectangle containing a smaller rounded rectangle for input fields, and a separate rectangle on the right for additional settings.

Input Fields (Main Form):

- ニュース・広告メッセージ
- 連結URL
- 配信条件**
 - 配信数 通
 - 属性**
 - 地域別 性別 年齢別
 - 職業別 趣味別
- 重複可否
 - ☐ 重複可 ☐ 1日に一回 ☐ 重複不可

Additional Settings (Right Rectangle):

-
-

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP00/07184

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl⁷ G06F13/00, 15/00, 17/30, H04L12/58

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl⁷ G06F13/00, 15/00, 17/30, H04L12/58

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2000
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2000	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2000

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP, 11-161588, A (InterKyu K.K.), 18 June, 1999 (18.06.99) (Family: none)	1-10
Y	JP, 11-003348, A (Sharp Corporation), 06 January, 1999 (06.01.99) (Family: none)	1-10

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier document but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
19 December, 2000 (19.12.00)

Date of mailing of the international search report
26 December, 2000 (26.12.00)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ G06F13/00, 15/00, 17/30, H04L12/58

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ G06F13/00, 15/00, 17/30, H04L12/58

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1922-1996年

日本国公開実用新案公報 1971-2000年

日本国登録実用新案公報 1994-2000年

日本国実用新案登録公報 1996-2000年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	JP, 11-161588, A, (インターキュー株式会社), 18. 6月. 1999, (18. 06. 99), (ファミリーなし)	1-10
Y	JP, 11-003348, A, (シャープ株式会社), 6. 1月. 1999, (06. 01. 99), (ファミリーなし)	1-10

☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)

「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

19. 12. 00

国際調査報告の発送日

26. 12. 00

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/J P)

郵便番号 100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

鳥居 稔

5 R

8841

印

電話番号 03-3581-1101 内線 3520